

令和7年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	13	氏名	辻 村 岳 瑠 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1		富士宮市地域福祉推進計画の今後の展望への提案について		<p>地域づくりは、福祉、防災、健康において重要な施策である。健康に関して、近藤克則先生の著書「健康格差社会への処方箋」では、地域環境が健康に大きな影響を与え、地域づくりが健康への処方箋になることが示されている。</p> <p>富士宮市では、令和7年度が富士宮市地域福祉推進計画の策定年度である。地域づくりの重要性は、人口減少による活力低下や、人間関係の希薄化、巨大地震への備え、さらに福祉・医療の財源の枯渇といった課題に対応するために必要であると考えられる。</p> <p>これらの問題に対処し、持続可能な社会を築くために、福祉・防災の観点から以下伺う。</p> <p>(1) 自治会加入数の目標値及び推移について伺う。</p> <p>(2) 富士宮市子ども会事業補助金の申請状況などから、地域のこどもたち子ども会への参加状況や満足度について伺う。</p> <p>(3) 介護施設への入所待機者はどの程度か伺う。</p> <p>(4) 障害者手帳の所持者やその保護者などが交流する場にはどのようなものがあるか。また、その所持者の加入率は。</p> <p>(5) 地域福祉の担い手について、民生委員、児童委員、地区社協、寄り合い処など、地域福祉を支える組織や活動の世代交代に関する現状を伺う。</p> <p>(6) 令和5年度からスタートした富士宮市重層的支援体制整備事業においての地域づくりと富士宮市地域福祉推進計画の関連性について伺う。</p> <p>(7) 巨大地震など災害に対する備えとして、地域づくりが重要視されているが、具体的な事例について伺う。</p> <p>また、防災都市づくり計画が策定され、地域の事前復興計画が静岡県の方針に基づいて進められる中で、地域の人々のつながりや共助を強化することが、災害からの復興において普遍的な価値をもつと考える。富士宮市地域福祉推進計画において、福祉と災害対策の相乗効果をどのように図ることができるのか、市の見解を伺う。</p> <p>(8) 富士宮市地域福祉推進計画の基本目標2の基本施策①に、「包括的な福祉サービスの整備」とある。</p> <p>その内容は、限りあるリソースを優先度の高い取組に充てるという考えに基づいていると思うが、今後30年を見据えると、現在の方がまだ余力があり、今から新たな技術を活用する取組を開始すべきと考え、以下伺う。</p> <p>① 基本目標2の基本施策①「包括的な福祉サービスの整備」について。</p> <p>より迅速に的確に利用者の相談ニーズを把握し、適切な支援に結び付けるため、現在の相談内容をデータベース化し、蓄積していく取組を進めていくことを提案する。また、併せて、福祉的な相談に対して生成AIを活用して必要な支援につなげられる体制を構築することを提案する。以上の提案に対する市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

令和7年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	13	氏名	辻 村 岳 瑠 議 員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
				② これからの地域づくりについて。 既存の地域コミュニティ同士を結びつける取組が、自立した地域のつながりを強め、世代交代を促進する重要な施策になると考える。このアプローチは、社会学における「弱い結びつきの強さ」の理論を活用したものである。既存のコミュニティを結びつける具体的な方法を研究し、実践する必要性について、市の考えを伺う。		